

2 学習指導過程

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	◇美濃和紙職人「藤田一夫」さんを紹介し、資料への興味・関心を高める。 ・美濃市片知出身で、美濃和紙の発展に努めてきた人だ。	・藤田一夫翁の生き方を通して、自分と地域との関わり方について考えることをおさえる。
展開前段	◇資料提示をする。 ○感想を交流する。 ・修行はかなり難しかったのに、一度もやめたいと思わず、勉強をし続ける藤田さんはすごいと思う。 ・お金を儲けるのではなく、美濃和紙の技術や精神を残したいという藤田さんの考え方はすごいと思う。 ・「美濃和紙の行く末を見定めたい」と、先のことまで心配できるのは、郷土を大切に思う心があるからだ。 ・美濃和紙が世界無形文化遺産に登録されたのは、藤田さん達が大切に守って来てくれたからだ。誇りに思う。 ○藤田翁が七十年近く「やめたい」と思うことなく紙を漉いてくることができたのは、どうしてだろう。 ・紙を漉くほど上手になっていくのが嬉しく、楽しい。 ・理屈とか科学ではなく、実感で身に付けて作った和紙こそが本物で、その技術を伝えていきたいから。 ・紙は、漉く人のその時の心を映し出すから、この技術を残すには、どんなときも紙の繊維を納める心と技術を身に付けることが必要だと思っているから。 ・尾張の殿様に献上する紙を漉くようなすばらしい美濃の伝統文化を、この地域に残していきたいから。 ◎藤田翁が「美濃和紙の行く末を見定めるまでは、しばらく死ねん」という思いを抱くのは、どんな気持ちからだろう。 ・この美しい美濃和紙が絶えてしまうことがあったらつらい。受け継がれていくのを見届けたい。 ・美濃和紙のよさを見極める人がいなくなっている。何とかして、本物の美濃和紙を残していきたい。 ・千三百年生き続ける和紙を作ることができる技術や精神を絶やしてはいけない。 ・美濃和紙は、美濃の美しい豊かな水でしか作れない和紙だからこそ、この地域で生き続けてほしい。 ・この土地を心から愛している。この郷土が守られ、発展していくことを願っている。 ○自分が引き継いできたものを次世代に残したいと願いながら郷土に尽くす藤田翁の生き方から学べることは何だろう。(ペア交流) ・目先の利益ではなく、大切なことを見極めてこだわっていくことが、伝統や文化を守っていくことになる。 ・郷土を愛する心が、優れた伝統や文化を生み出し、発展させていくことができることが分かった。自分も、もっと郷土に目を向け、できることを考えたい。 ・郷土の伝統や文化を守るために尽くし、自分の人生を大切に生きてきた先人達のおかげで今の郷土、生活があることが分かった。自分も大切にしたい。	・自然豊かできれいな水のある片知の様子分かる補足資料を提示する。 ・「すごい」という発言に対しては、その理由を問いて見方や考え方を明らかにし、自己理解を促す。 ・感想を交流する中で、藤田翁の生き方を整理するとともに、藤田翁の考え方についてどう思うか問うことで、自分自身と関わらせ、本時深めたい道徳的価値について課題意識をもつことができるようにする。 ・「修行はかなり難しかったのではないか」と問い、「家の後を継ぐ」という気持ちだけでなく、藤田翁自身が美濃和紙の魅力に惹かれて前向きに学び続け、それが後世に残したいという強い思いにつながっていることに気付くことができるようにする。 ・藤田翁の美濃和紙や郷土への愛情の深さを捉えさせると共に、自分の郷土への気持ちを思い起こすことができるようにする。 ・先人から受け継ぎ、自分の生涯をかけて守ってきた美濃和紙が、これからもこの地域で生き続け、ここに生きる人たちの誇りになっていくことを願う主人公の気持ちを深める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">【深めの発問】 ★藤田翁は郷土「美濃」に対してどんな思いや願いを抱いているのだろう。</div> ・美濃和紙を守るといふことについての藤田さんの思いや願いを多面的・多角的に考えることができるようにする。 ・自分と関わらせながら藤田翁の生き方について考えたり、藤田翁の生き方から今後の自分の生き方を考えていたりしている発言を価値付ける。 ・藤田翁への尊敬や感謝の念を膨らませることにより、主体的に郷土の発展に努めていきたいという気持ちをもつことができるようにする。
展開後段	○自分の郷土の発展をどのように描くだろう。そのために踏み出せる一歩を考えよう。 ・毎年行われる「あかりアート展」では、大勢の人が集い、その灯火に心を癒やしてほしい。そのために、願いを込めた作品づくりはもちろん、美しい町作りのためのボランティア活動にも進んで参加したい。	・自分の地域の伝統や文化について、具体的に思い起こし、広く捉えることができるようにする。 ・地域社会の一員として、その発展を具体的に描き、自ら進んで関わっていきけるようにする。
終末	◇教師の説話を聞く。	<生徒の変容の見届け> ・「地域の伝統や文化を守っていくために、自分ができることを、進んで見つけてやっていきたい」など、自分の生活を振り返りながら郷土への思いを深めている。